

JAさが第四次3カ年計画（自己改革）の取組進捗について

現在、JAグループでは「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果をあげることがをめざし、農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

私たちJAさがでは、自己改革の具体策を「JAさが第四次3カ年計画（平成28年度～30年度）」に盛り込みながら進めており、3つの目標に向けた主な取り組みと進捗について報告します。

＜営農販売部門＞

営農販売部門では、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」の実現に向け、農畜産物の生産基盤強化と生産コストの低減などを重点対策として取り組みました。引き続き取り組みを進めていきます。

1. 新規就農者の就農対策

トレーニングファーム（新規就農研修施設）を活用した、新規就農希望者への研修実施により、担い手の確保に向けた取り組みを進めました。

(1) 中部地区富士町

「ほうれん草」の新規就農研修の実施について、平成30年1月からの研修スタートに向けて協議を行いました。

(2) みどり地区武雄市

「きゅうり」の新規就農研修の実施について協議を進め、平成29年5月から第1期生の研修を開始しました。

2. 園芸・畜産酪農の生産基盤強化

「園芸生産振興対策」「畜産酪農生産基盤強化対策」の実施により、生産基盤の強化に取り組まれました。引き続き対策の実施に取り組めます。

(1) 園芸生産振興対策

ハウスリース、園芸施設の新設・増設助成、果樹の新植・改植助成、茶樹の中切り助成などを実施しました。

【28年度の主な対策とその成果】

項目	成果	助成額（千円）
ハウス等の増設	10.3ha	50,031
茶樹の中切り実施	91.3ha	9,101

(2) 畜産酪農生産基盤強化対策

牛舎の新築・改築助成、素牛導入による増頭助成、初妊牛・経産牛の導入助成、マル繁事業積立金助成などを実施しました。

【28年度の主な対策とその成果】

項目	成果	助成額（千円）
牛舎の新築	11棟（811頭分）	19,454
牛舎の改築	5棟（73頭分）	6,583
肥育素牛の増頭	783頭	39,150
和牛ET（受精卵移植）	807頭	10,024
乳用雌牛導入	64頭	3,460
マル繁事業積立金助成	24,983頭分	37,474

＜営農経済部門＞

営農経済部門では、集落営農組織の法人化が進むなか、担い手経営体を中心に「農業者の所得増大」に向けた生産資材コストの低減や、物流改革による物流コストの削減などを重点対策として取り組みました。引き続き取り組みを進めていきます。

1. 生産コスト低減による農家所得の増大

肥料農薬関連では、フォークリフト導入対策などの実施により、肥料の満車直行や大型規格の利用拡大をはかり、生産資材のコスト低減に取り組みました。

農業機械関連では、中山間地向け農業機械導入対策の実施により、中山間地域での農業生産の継続をはかりました。

【取り組みによる実績と計画】

項目	26年度実績	27年度実績	28年度実績
満車直行比率	15%	18%	18%
フレコン供給比率	19%	18%	20%
農機重点型式結集率	83%	85%	85%

2. JA物流事業の改革による物流コストの低減

JA物流事業のJAさがグループ会社への業務移管により、物流コストの削減による農業者の経費負担軽減に取り組みました。

また、集荷・販売の一元化とあわせた青果物物流の配送合理化・効率化による物流コストの削減に向けた協議を進めました。

＜生活関連部門＞

生活関連部門では、「地域の活性化」に向けて、生活文化活動の充実はもちろん、高齢化社会が到来するなかで、高齢者の生きがづくりや、見守り活動の推進に取り組みました。

また、事業面では「JAくらしの宅配便」の利便性向上や利用拡大をはかるため、品揃えの充実や安全・安心な商品の提供に向けた仕組みづくりに取り組みました。引き続き取り組みを進めていきます。

1. 生活文化活動と高齢者の生きがづくり等の取り組み強化

女性部を中心とした、生活文化活動の活性化と、農業の大切さやJA活動を次世代へ広める食農教育活動の強化に取り組むとともに、組合員・地域住民との仲間づくりと絆づくりを進めました。

また、助けあい組織を中心とした高齢者の健康・生きがづくりと、認知症サポーターの養成による高齢者の見守り活動の充実に取り組みました。

2. 宅配事業を再構築した「生活総合宅配」の展開と利用拡大

生活必需品を中心とした品揃えの充実や安全・安心な商品の提供およびサービス向上をはかるため、JA全農と連携し、宅配事業「JAくらしの宅配便・食材宅配事業」の再構築に取り組みました。

これにより、平成29年4月から「生活総合宅配」としてスタートしました。

**組合員の皆さんの期待・要望に応えるため
JAさは自己改革に取り組んでいきます**